

オオサワ株式会社 環境経営レポート



2023 年度 第 22期
(対象期間： 2023 年7月1日～ 2024 年6月30日)



発行 日： 2024年7月20日

発行責任者： 上坂 嘉博



目次

項 目	ページ
組織の概要	2
実施体制	3
環境方針	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	10



組織の概要

1. 名称及び代表者名

オオサワ株式会社
代表取締役 大澤 愛一郎

2. 所在地

〒521-0236
滋賀県米原市間田395番地
TEL 0749-55-2061 FAX 0749-55-3811
URL <http://const.ohsawa.co.jp>

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 工事部 部長 川瀬 晴弘 TEL : 0749-55-2061
担当者 営業部 課長 上坂 嘉博 TEL : 0749-55-2061

4. 事業内容

総合建設業（土木、建築、舗装）

5. 事業の規模

売上高(千円)	2021	2022	2023
	2,529,001	1,571,100	2,645,000

	従業員数(人)	床面積(m2)	敷地面積(m2)	倉庫(m2)	資材置場(m2)
本社	40	921.70	3,380.00	1,209.00	3,914.70
住宅事業部	4	132.50	615.40	-	-
合計	44	1,054.20	3,995.40	1,209.00	3,914.70

6. 事業年度

7月1日 ～ 6月30日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： オオサワ株式会社
対象事業所： 本社 住宅事業部
〒521-0236 〒526-0033
滋賀県米原市間田395 滋賀県長浜市平方町720-1
対象外： なし
活動： 総合建設業（土木、建築、舗装）

□事業の紹介

総合建設業



土木工事



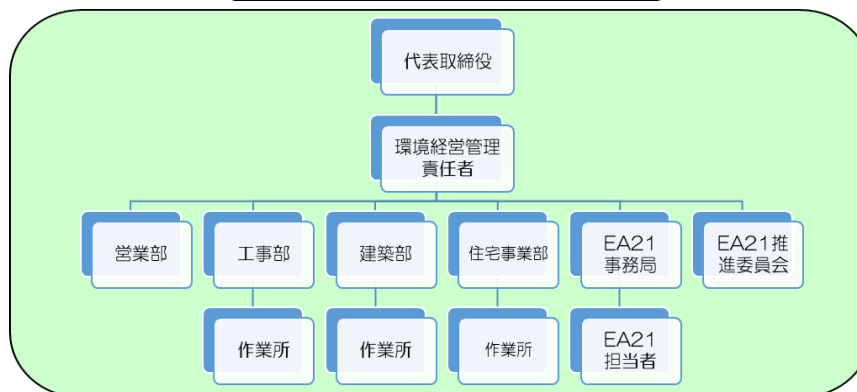
建築工事



舗装工事

環境経営組織及び役割・責任・権限

EA21実施体制



役職	役割
代表取締役	- 環境経営方針の設定・見直し - 環境経営管理責任者の任命 - 環境経営マニュアルの承認 - 全体の評価と見直し
EA21推進委員会	環境経営システムの審議
環境経営管理責任者	- 環境経営システムに関する全ての責任と運用 - 環境への負荷及び取り組みの自己チェックの承認 - 法規制等の遵守状況のチェック - 環境マニュアルを作成 - 環境経営活動の取り組み状況を確認 - 環境経営目標の達成状況を評価 - 問題点の是正、予防処置に対する指示 - 内部及び外部コミュニケーション記録の承認 - 環境経営活動の取り組み状況の社長への報告 - 担当責任者の任命
EA21事務局	- 環境経営システム運営の事務 - 環境経営目標及び環境経営活動計画の取りまとめ作成 - 実施達成状況の集計 - 文書及び記録の管理保管 - 外部からの環境に関する苦情や要望を受ける窓口 - 環境経営レポートの作成、承認、発行
担当責任者	- 責任範囲における環境経営システムの実施。 - 責任範囲における環境への負荷及び取り組みの自己チェック及び環境経営管理責任者への報告 - 責任範囲の環境経営活動計画書の作成、実施達成状況の報告 - 責任範囲の特定された項目の手順書作成及び運用管理 - 責任範囲の特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練記録 - 責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	- 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境方針

環境経営方針

環境理念

オオサワ株式会社は、総合建設事業者としてエコアクション21に自主的、積極的に取り組み、その継続的改善を経営の重要課題と位置付け、全ての事業活動を通じて環境に配慮することで地域の循環型社会の構築に貢献します。

活動方針

オオサワ株式会社は、全ての事業活動において、以下の活動を実施することで、環境負荷の継続的な削減に取り組みます。

1. 環境に関する法令や規則を遵守します。
2. 環境に基づいたPDCAサイクルを実施することで、継続的改善に取り組みます。
3. 環境負荷を低減させるため、以下の活動を実施します。
 - ・電力による二酸化炭素削減
 - ・ガスによる二酸化炭素削減
 - ・化石燃料による二酸化炭素削減
4. 産業廃棄物排出を低減させるため、以下の活動を実施します。
 - ・一般廃棄物の削減及び建設副産物の再資源化
5. 水使用量を低減させるため、以下の活動を実施します。
 - ・水道水の削減
6. 環境に配慮した生産を向上するため以下の活動を実施します。
 - ・環境に配慮した計画や設計または施工の提案
7. 社会貢献の推進を図るため以下の活動を実施します。
 - ・CESAプログラムの実施
 - ・淡海エコフォースターの実施など、地域に密着した地域貢献活動の実施
8. 全社員が自主的、積極的な活動を実施するため、この環境方針を周知徹底させ環境保全の意識向上を図ります。

制定：2005/4/1

改訂：2023/10/1

オオサワ株式会社
代表取締役 大澤 愛一郎

主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	188,600	225,971	278,835
化石燃料	kg-CO ₂	160,287	191,321	254,021
電力	kg-CO ₂	28,313	27,724	24,814
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	997	1,064	900
産業廃棄物排出量	t	21	3	1,818
水使用量	m ³	248	283	237
		0.619	0.451	0.451
		出光グリーンパワー	出光グリーンパワー	出光グリーンパワー

kg-CO₂/kWh

※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）

※2021年、2022年度の二酸化炭素総排出量には目標に掲げない灯油使用量が含まれている

※負荷の実績は工事現場を含む

環境経営目標及びその実績

項 目		年 度	2022年 (基準値)	2023年度		評価	2024年度 (目標)	2025年度 (目標)
				(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kWh		44,789	44,341	55,021	×	44,341	43,893
	基準年度比			99%	123%		1.0	1.0
	売上高原単位	kWh/ 百万円	12.6	12.5	13.8	×	12.5	12.3
	売上高原単位	kg-CO ₂	20,200	19,998	24,814	×	19,998	19,796
ガスによる二酸化炭素削減 (LPG)	kg-CO ₂		18,860	18,671	15,710	○	18,671	18,483
	基準年度比			99%	83%		99%	98%
車輦燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		179,822	178,024	238,311	×	178,024	176,226
	基準年度比			99%	133%		99%	98%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂		218,882	216,693	278,835		216,693	214,504
一般廃棄物の削減	kg		1,064	1,053	900	○	1,053	1,043
	基準年度比			99%	85%		99%	98%
建設副産物の再資源化率の向上	%		100%	100%	99%	○	100%	100%
水道水の削減	m ³		260	257	237	○	257	255
	基準年度比			99%	91%		99%	98%
環境に配慮した工事の推進	回		4	4	4		4	4

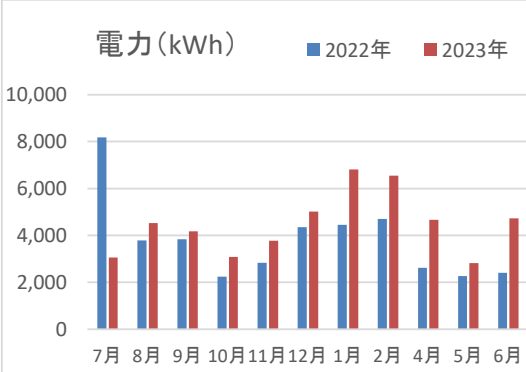
※電力の二酸化炭素排出係数は出光グリーンパワー(株)2021年度調整後排出係数0.451kg-CO₂/kWhを使用している。

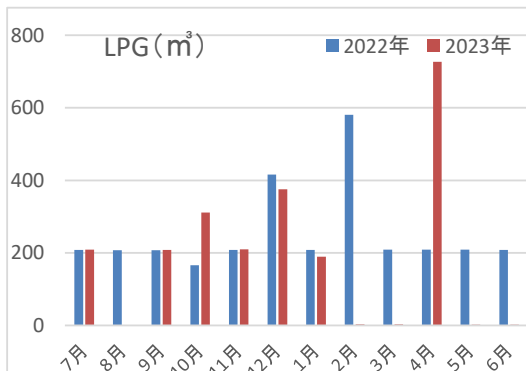


環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画		達成状況	取組結果とその評価									
電力による二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容									
数値目標		×	今期においては基準年比22.8%増と成りました。上期においては前年並みの使用量に留まっていましたが下期において増へと転じました。要因としては建築工事において大規模工事が稼働し始めた事により使用量が増えたと考えられます。作業所での使用量に左右される事が多いので今後の推移を監視して行きたいと思います。									
原単位目標		×										
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）		○										
・不要照明の消灯		○										
・OA機器の省エネ設定		○										
・休憩時間の消灯、退出時の消灯		○										
電力(kWh) ■ 2022年 ■ 2023年  7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 4月 5月 6月			取組紹介欄  冷房28℃ 暖房20℃  こまめに消灯  休憩時間の消灯									
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	8,177	3,782	3,835	2,245	2,838	4,349	4,457	4,701	2,622	2,622	2,265	2,412
2023年	3,059	4,532	4,178	3,085	3,775	5,018	6,817	6,551	5,785	4,665	2,826	4,730

ガスによる二酸化炭素削減（LPG）		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容									
数値目標		○	今期においては基準年比16.7%減の結果と成りました。日々の活動が問題無く行われていると思いますので今後も継続出来る様取り組みます。									
・ガス器具の効率使用		○										
・定期的なメンテナンスの実施		○										
・現場作業時には効率的な使用の実施		○										
LPG (m³) 2022年2023年  7月8月9月10月11月12月1月2月3月4月5月6月			取組紹介欄 漏れの検知すぎ・通せすぎに注意！ 使用後は、元栓を閉める ガス器具のメンテナ ス実施 現場作業時には効果 的な使用の実施									
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	208	207	208	166	208	416	208	581	209	209	209	208
2023年	209	1	208	312	209	376	189	3	3	727	2	2

車両燃料による二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
数値目標		×	今期においては目標達成とはなりません。要因としては軽油の使用量が前年より多く消費されたことが影響していると思われます。ガソリン使用量に関しては前年より削減された結果と成りました。軽油の使用量に関しては作業所の稼働状況により左右されるので今後の推移を監視して行きたいと思います。
・「エコドライブ」の実施		○	
・効率的なルートで移動		○	
・作業に不要な車両の乗り入れを抑える		○	

車両燃料(L)

■ 2022年 ■ 2023年

月	2022年 (L)	2023年 (L)
7月	7,309	8,250
8月	6,562	8,123
9月	6,877	9,178
10月	5,785	7,776
11月	5,651	7,594
12月	7,008	9,341
1月	5,109	6,890
2月	5,665	8,270
3月	4,694	7,111
4月	6,140	7,568
5月	6,381	7,140
6月	4,915	7,275

取組紹介欄

「タセルスタート」

エコドライブ

10のすすめ

エコドライブの実施

6 燃費を減らす

7 タイヤの交換

8 不要な荷物を減らす

9 走行の妨げを減らす

10 自動車のメンテナンス

燃費基準達成車

低排出ガス車

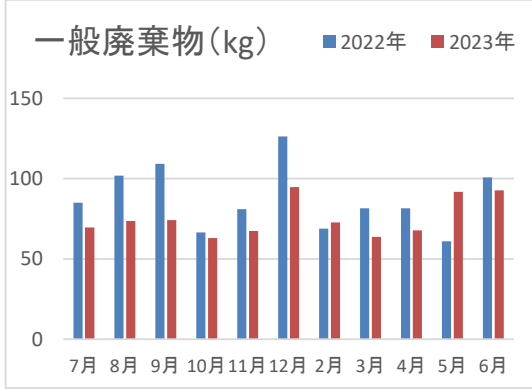
エコ対象車両への入替

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今期においては基準年を15.4%下回る結果となりました。ゴミの分別や裏紙再利用など日々の活動が確実に実行されている結果では無いかと思います。今後も継続する様取り組みます。
・ 分別の徹底	○	
・ シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・ 社内文書の電子化	○	

一般廃棄物(kg)

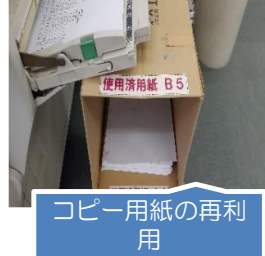
■ 2022年

■ 2023年



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	85	102	109	67	81	126	98	69	82	82	61
2023年	70	74	74	63	67	95	69	73	64	68	92

取組紹介欄



コピー用紙の再利用



分別の徹底

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	85	102	109	67	81	126	98	69	82	82	61	101
2023年	70	74	74	63	67	95	69	73	64	68	92	93



建設副産物の再資源化率の向上		達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容											
数値目標		○	産業廃棄物処理の適性処分が行えています。リサイクル率100%を目指し活動を継続できる様取り組みます。											
・ 分別の徹底		○												
・ 再資源化先の開拓		○												

再資源化率 (%)

■ 2022年

■ 2023年

月	2022年	2023年
7月	100	100
8月	100	100
9月	100	100
10月	100	100
11月	100	100
12月	100	100
1月	100	100
2月	100	100
3月	100	100
4月	100	100
5月	100	100
6月	100	86.4

取組紹介欄

分別・リサイクルの徹底

産業廃棄物の適正処理

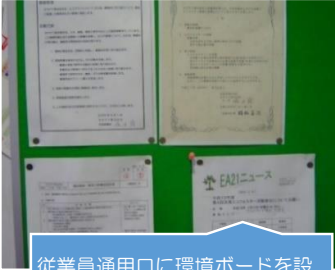
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
2023年	100	100	100	100	100	100	100	93.8	100	100	100	86.4

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今期においては基準年を8.8%下回る結果となりました。月々の使用量でもほぼ前年並みの使用量となりました。日々の活動も問題無く行われていると思いますので継続し活動を続けて行く様取り組みます。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・漏水点検の実施	○	
・散水に用いる用水は河川等を利用する	○	

水道水(m³) 2022年 2023年
--



環境に配慮した工事の推進		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容									
・環境配慮型の建設機械の徹底利用		○	今季においては2件の公共工事が完成となりました。他工事も含めいずれの工事も環境配慮型の資機材を使用し施工を行っていました。									
・環境配慮型の建設資材の優先利用		○										
・環境に配慮したﾌﾟﾗﾝﾐﾝｸﾞの提案		○										
取組紹介欄												
 環境配慮型重機  環境調査  ピワクルエコ製品の使用												
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年		1			1			1			1	
2023年		1			1			1			1	

その他の取組												
取組紹介欄  従業員通用口に環境ボードを設置しEA21の関連情報などの広報を行っています  月1回環境パトロールを実施し作業所における環境活動の実施状況をチェック  ICT施工実施に伴いドローンによる測量や重機のオペレーションシステムを導入し施工を初めています												



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁防止法	油類・有害物質の保管、事故時の処置
浄化槽法	浄化槽
下水道法	除害施設
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫、建設機械の空調
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

【前回の指示への取組結果】

前回審査において推奨事項とし2項目の指示が有りました。環境経営目標の目標値の見直しについては2022年度を基準とした行動目標を制定しました。もう1項目の倉庫に資材が散在しているとの指摘を受けた事項につきましては使用できるものと出来ないものを選別し倉庫内の整理整頓を行いました。

＜情 報＞	＜見直し・指示＞
◇自社を取り巻く環境問題の変化 近年において環境経営方針に影響を与える様な変化は有りません。	◇環境方針 環境経営方針を見直す様な環境変化は無い様なので現在の環境方針を軸に環境経営活動を継続していく事。
◇環境経営目標・計画の達成状況 今年度においては電力及び燃料に関する項目で目標達成が出来ませんでした。	◇環境経営目標・環境経営計画 当社の二酸化炭素排出削減において大きな割合を占めるのが電力と・燃料消費かと思われます。この2項目は作業所の件数や規模により結果が左右される事も有るとかと思いますが、平均的な使用量を把握し比較検討を行える様取り組んで下さい。
◇その他 システム運用においては問題無く運用されています。また日々の環境経営活動も問題無く実施されています。	◇実施体制他 システム運用及び日々の活動においても問題無く運用されている様ですので今後も継続活動を続けていく事。

